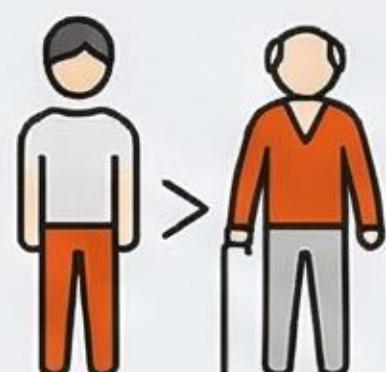


解決する課題

AI格差とデジタルデバイドの拡大

AI認知率 **71.3%**, 利用率 **8.2%** ⇒ **63%**が「知っているが使えない」



AI格差の拡大

- ・60代のChatGPT利用率：8.2%（20代は47.3%）
- ・若年層とシニア層で**約6倍の差**



情報弱者化リスク

- ・行政手続き、医療情報、金融サービスでの不利益



既存講座のミスマッチ

- ・エンジニア向け・ビジネスパーソン向けが主流
- ・**50代以上の生活者視点の講座はほぼ皆無**



学習への心理的障壁

- ・「AIは難しそう」「自分には無理」という先入観
- ・実際は文字入力さえできれば十分



ターゲットユーザー

50~70代、推定3,200万人

プライマリターゲット



年齢：50~70代

デジタルスキル：スマホでLINE・メールができるレベル

動機：「AIって何？」から「仕事や生活に使いたい」まで

推定人口：約3,200万人（50~70代のスマホ利用者）

スマホ保有率82.7%、3,200万人の巨大市場



セカンダリターゲット



企業：
シニア社員向け
AIリスキリング研修



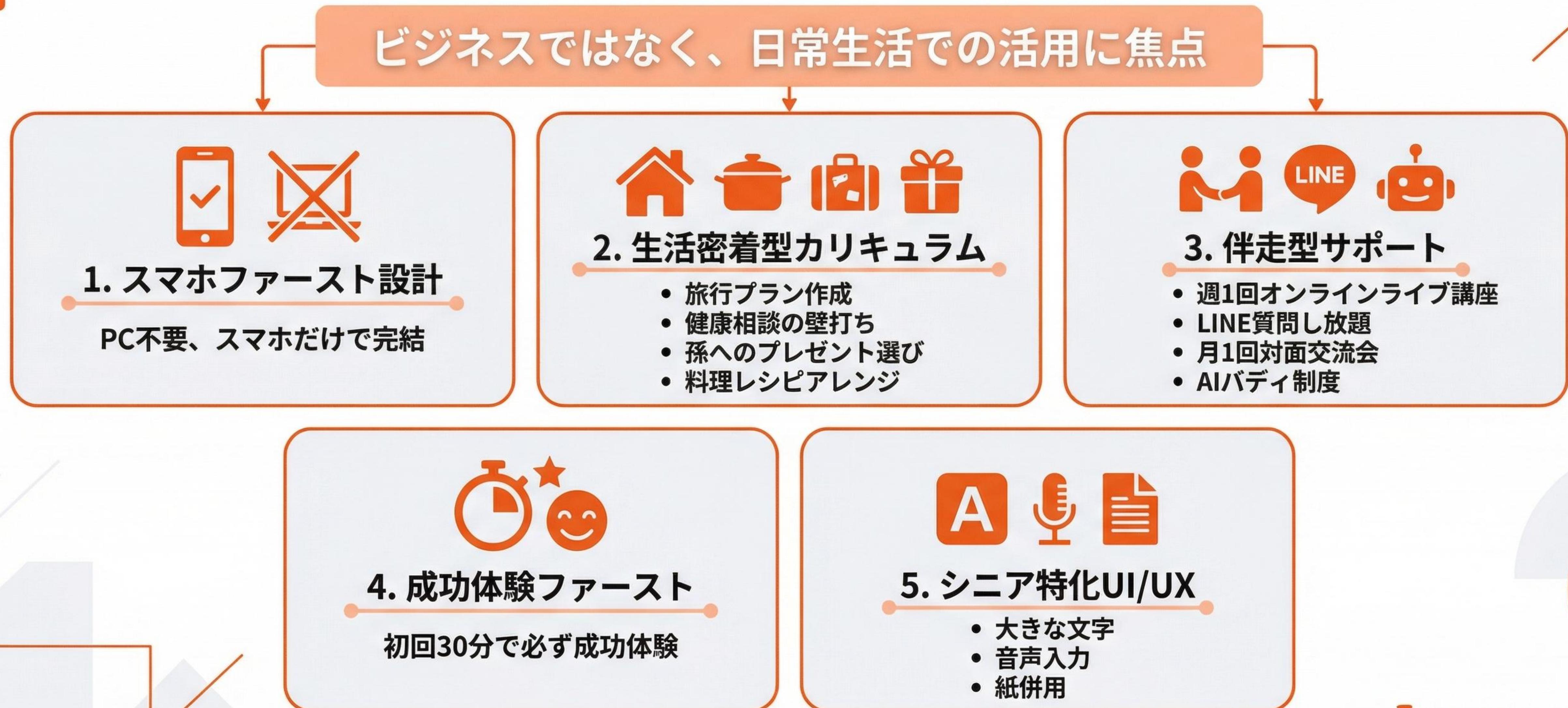
自治体：
デジタルデバイド
解消施策



家族：
親にAIを教えた
い30~40代

差別化ポイント

5つの独自価値



ビジョン

AIがあるから楽しいと思える50代以上を100万人つくる

デジタルデバイドを解消し、
シニアの生活をAIで豊かにする



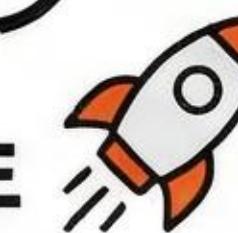
ミッション

年齢に関わらず、誰もが
AIの恩恵を受けられる
社会をつくる



マイルストーン

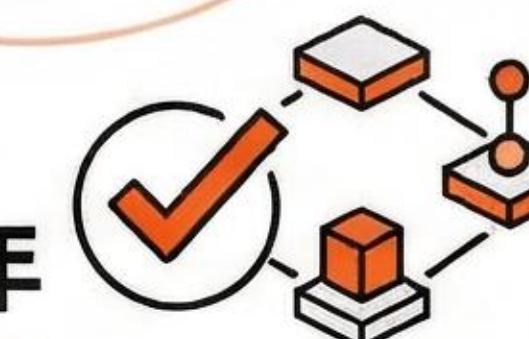
2026年



2027年



2030年



MVP立ち上げ、
受講者500名

受講者1万人、
シニアAI教育のトップブランド

シニアAIリテラシーの
標準プラットフォーム

ありがとうございました
 TEKION Group

ビジネスモデル

B2C 50% + B2B 35% + ライセンス15%

 **LTV/CAC = 7.47倍、回収期間1.6ヶ月の健全モデル**



B2C講座（個人向け）

- ・ベーシック
¥4,980/月（週1ライブ + LINE質問）
- ・プレミアム
¥9,800/月 (+ 月2回個別指導)
- ・マスター
¥19,800/月 (+ AIバディ + 修了証)

月間売上：¥2,374,000 (安定期)



B2B研修受託（法人向け）

- ・半日研修
¥300,000 (3時間、最大30名)
- ・連続研修
¥1,500,000 (4週間)

月間売上：¥3,400,000 (安定期)



ライセンス・教材

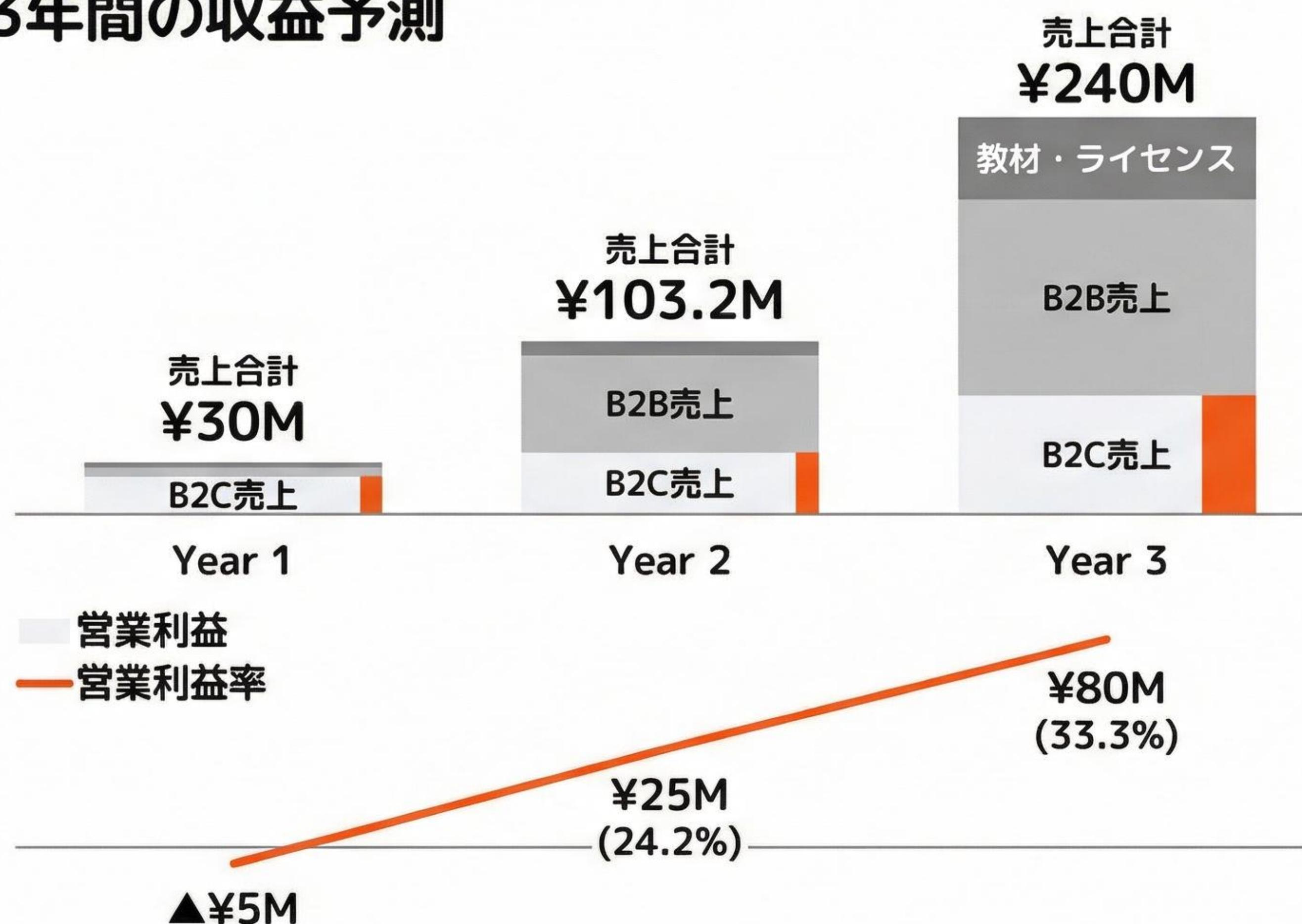


- ・テキスト教材、動画パック、
自治体ライセンス
- ・講師養成プログラム
(¥198,000)

収益予測

Year 3で営業利益率33.3%

3年間の収益予測



損益分岐点8ヶ月、Year 2で黒字化、
Year 3で高収益体质

主要KPI (Year 3目標)

- 月間有料会員数：1,000名
- 月次解約率：3%
- B2B研修受注：10件/月
- NPS (推奨度) : 65

サービス構成

学習基盤 × コミュニティ × コンテンツ



スマホ最適化、直感的UI、音声入力対応



学習基盤 (LMS)

- ・進捗管理、動画レッスン、修了バッジ



コミュニティ (LINE)

- ・質問受付、受講生同士の交流
- ・AIバディ制度



コンテンツ配信

- ・動画（字幕付き）
- ・PDF教材
- ・プロンプトテンプレート



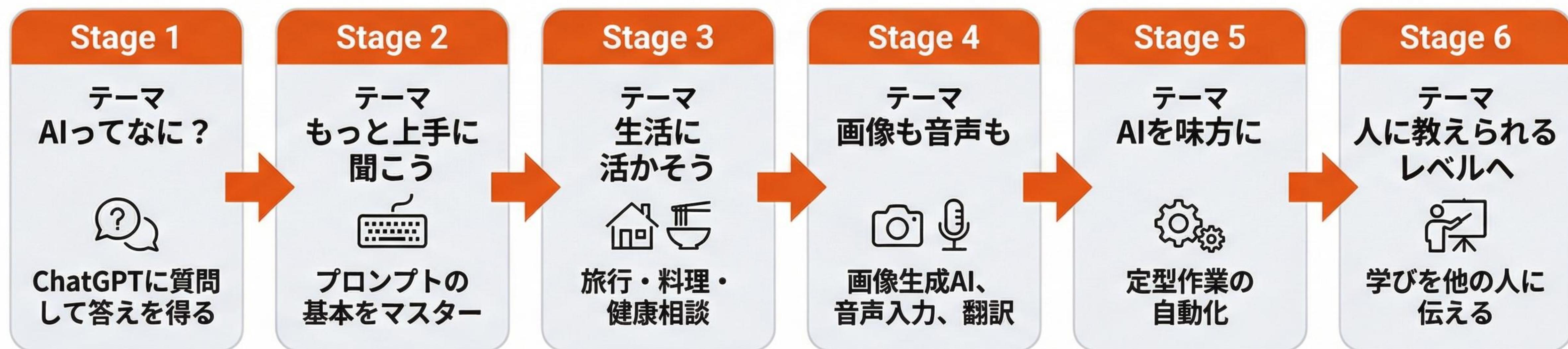
受講生向けアプリ (PWA)

- ・ステップバイステップ操作ガイド
- ・AIお試し画面
- ・学習カレンダー

カリキュラム

全6ステージ、各4週間

理論より実感、成功体験を積み重ねる設計



※1レッスン60分：



リスクと対策

主要3リスクへの備え

リスク管理体制を初期から構築、
柔軟な対応力を確保



1. 競合参入リスク (影響: 高)

- ・先行者優位確立、コミュニティの粘着性
- ・認定講師制度、B2B法人チャネル早期開拓



2. 解約率高騰リスク (影響: 中)

- ・オンボーディング強化 (初月週3回フォロー)
- ・AIバディ制度、ゲーミフィケーション
- ・休会制度導入



3. AI規制強化リスク (影響: 高)

- ・特定AIサービスに依存しない設計
- ・複数プロバイダー対応 (OpenAI/Anthropic/Google)
- ・法務顧問と連携、規制モニタリング

市場機会

生涯学習市場2.5兆円、AI教育市場急成長

シニア×AI×スマート化の空白市場、先行者優位を獲得可能

市場規模



- 生涯学習市場：
約2.5兆円 (2024年)
- シニア向けデジタル教育：
約1,200億円
- AI教育市場：
¥920億円 (2025年)
→ **¥2,800億円** (2028年予測)

ターゲット規模



- 50代以上のスマホ保有率：
82.7%
推定**3,200万人**
- AI認知率71.3%、
利用率8.2%
→ **63%**が潜在顧客



成長ドライバー



- 政府のデジタル推進政策
- リスクリング補助金
(最大70%補助)
- 定年延長トレンド
(70歳まで就業機会)

ローンチタイミング

2026年Q2がゴールデンウィンドウ

今がベストタイミング。遅れるほど競合参入リスクが高まる



市場の成熟

ChatGPT月間3億ユーザー突破
日本での認知率7割超え
「知っているのに使えない」
フラストレーション最大化



政策追い風

デジタル庁の「誰一人取り残されないデジタル社会」
リスキリング補助金（最大70%補助）
自治体のデジタルデバイド解消予算増加



競合空白

シニア×AI×スマート化の本格
サービスは国内に存在しない
**大手参入前の12~18ヶ月が
ゴールデンウィンドウ**

推奨ローンチ時期：2026年Q2（4～6月）
新年度予算、GW明けの学び意欲

50代からのAI講座

スマホで文字が打てれば、AIは使える

- プログラミング不要、特別なPCスキル不要。
- スマホで文字を打つだけ。

